

「九州・南西諸島で何が起きているのか」

藤井克彦(戦争させない1000人委員会)

12月6日夜総がかり行動の主催で上記講演集会が開催され、中谷雄二共同代表の挨拶、三上智恵さんの「日米軍事演習キーン・ソードに反対する」(15分)と「鹿屋航空基地の無人機のニュース」(7分)という二本の動画の上映、そして飯島滋明さん(名古屋学院大学教授)の講演がなされた。

この臨戦的な日米軍事演習キーン・ソード(鋭い刃)は、11月10日から19日までの、太平洋や東シナ海を含む日本各地で最大規模の共同統合演習で、艦艇約30隻、航空機約370機が参加し、自衛隊2.6万人、米軍1万人の規模で実施された大軍事演習である。

11月8日には漁港でもある沖縄中城湾を「米軍との合同軍事演習に使うな」、「国道・県道を軍用車両で走るな」、「自衛隊は帰れ」と抗議し、座り込みなどがされた。11月9日も県庁前広場で緊急集会が行われ、多くの人が訴えたり、インタビューに応じていた。そこでの「沖縄を二度と戦場にしてはならない」、「まだ戦争は止められる」、「今本当にたたかわないと、あっという間に戦争になる」などの発言には、悲痛ともいえる叫びと、戦争を止めるのだという激しい決意を感じた。

また、この緊急集会には、石垣島・宮古島などの離島からも参加があり、「5年10年経ってやっとこの場に立てた」、「島々の人々と沖縄(本島)とが結びついて心強い」「与那国島では「自立ビジョンがあるが、日本政府は自立の道をことごとく無視してきた」と話していた。

飯島さんは、与那国島などの現場に行っておられ、写真を織り交ぜて話をされた。



(1) キーン・ソードでの与那国島での訓練について
16式機動戦闘車(MVC)は、時速100kmで走行可能なタイヤで走る戦車で、これを公道で走行させる目

的は、地ならしをして、市民に慣れさせると同時に、実際の戦闘を想定しての訓練である。(ぶっつけ本番では戦いにならない(防衛省幹部)。ここで訓練することは与那国島を戦場にするを意味する。MVCは北熊本駐屯地から福岡県の基地に自走し、C2輸送機で与那国島運ばれる。九州自体も自衛隊の出撃拠点。



与那国空港に到着した16式機動戦闘車。輸送機は美保基地のC2。 飯島滋明さん撮影

(2) 徳之島と沖縄本島でのキーン・ソード

11月17日徳之島海岸沖に米揚陸艦と自衛隊の輸送艦が展開。2隻から出て来た陸上自衛隊の水陸両用強襲車14両や偵察用のゴムボートに乗った200以上の隊員が浜に上陸。18日普天間基地のオスプレイが徳之島のグランドへの着陸訓練。

沖縄本島での訓練は各所で行われたが、中城港には民間チャーター船で車両73両などが輸送された。

(3) オリエント・シールド22
(2022年8月14日~9月9日)
「名は体を表す」で、日本は「東洋の盾」。



日本全土が米軍の出撃基地、後方基地、軍事訓練基地である。奄美駐屯地では、米陸軍火力戦闘部隊及び陸上自衛隊との共同対艦戦闘訓練実施。日本最西端の与那国島から台北までは110kmにすぎず、台湾海峡有事の際は戦略拠点の一つなるだろう(ケビン・メア)。

自衛隊の南西シフトは、尖閣諸島防衛を名目にして
いるが、実際には米軍事戦力「エアシーバトル構想」
の一環。米軍戦略は、中国を太平洋に進出させないこ
と。米軍の代わりに自衛隊が中国の太平洋進出を阻
止。アメリカの戦争で米軍の代わりに自衛隊が戦闘。
米軍は中国のミサイル攻撃を避けるためにハワイに
撤退。九州や南西諸島は中国のミサイル攻撃の標的
になる。

その後「エアシーバトル」から「遠征前方基地(EAB)
作戦」(EABO)へ。「制海権」を確保するため、米海兵
隊が迅速に島嶼に展開してEABを設定。そこから中
国艦船や航空機を攻撃。オスプレイなどで島から島へ
移動する。EABOに関わる訓練の例としては、鹿児島
県の臥蛇島、奄美、種子、徳之島、沖縄本島、久米島、
宮古島、与那国島、伊江島など。

(4) 出撃拠点、後方基地支援、訓練基地として強化さ
れる九州鹿児島鹿屋基地に無人偵察機MQ9リーパ
ー8機の暫定配備。目的は監視活動。無人偵察機と言
われるが、攻撃機にもなる。

馬毛島には、米空母艦載機離着陸訓練(FCLP)のた
めに自衛隊基地建設を強行。



海自鹿屋基地で初飛行する米軍無人偵察機 MQ9
2022年11月2日南日本新聞より

(5) 武力行使を可能にする仕組み

日本が攻撃されていなくても日本の存立が根底か
ら覆される明白な危険という「存立危機事態」を口実
に、日本が先に攻撃することを可能とする「安保法制」。
武器は敵基地攻撃能力の保有。組織は、水陸機
動団、15旅団(沖縄)の増強。

(6) 「抑止力」になるか

日米同盟があり、米軍の後ろ盾があるので有事に
至らず抑止力が効いているというが、真逆である。日
米軍事演習は抑止力ではなく、反発をまねいている

のでは。レーダーなど軍事拠点は真っ先に攻撃対象
となる。

(6) どう平和を構築するか

武力紛争に至らないための外交的・経済的・信頼醸
成に向けた取り組みが最優先である。自衛隊基地建
設に抗するには、与那国島・石垣島の例では、「反対・
撤去」では多くの市民の共感は得られない。攻撃され
れば助からない。自衛隊強化でなく、平和的な外交交
渉を求める。敵基地攻撃能力保有に断固反対という
運動。与那国島「自立」へのビジョンのように、交流に
よる経済発展、地域活性化を目指す対抗構想が重要。

最初に紹介した動画「日米軍事演習キーン・ソードに
反対する」「鹿屋航空基地の無人機のニュース」は以
下の URL から視聴できますのでぜひご覧ください。
沖縄では『ノーモア沖縄戦 命どう宝の会』が発足し
ました。「再び沖縄を戦場にするな・させるな」は、
「本土」の私たちこそが掲げるべきスローガンであり、
目標ではないかと思う。

◆ノーモア沖縄戦 命どう宝の会 HP

<http://nomore-okinawasen.org/>

◆南西諸島はすでに戦場なのか？—日米軍事演習キ ーン・ソード始まる(三上智恵)

メルマガ 75号動画

<http://nomore-okinawasen.org/3779/>

◆米軍無人機配備 その背景に何が？

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kagoshima/20221027/5050020941.html>

◆講演は以下の YouTube から視聴できます

<https://youtu.be/CvPX1a7bSsk>

